

118 アカモズ

(スズメ目)

兵庫県ランク:B

Lanius cristatus

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:EN(絶滅危惧 I B類)

種の概要

北海道、本州北・中部では夏鳥、本州南西部では夏鳥または旅鳥、四国、九州では旅鳥。兵庫県では主に4-9月に見られる。平地から山地の明るい林や林縁、疎林に生息し、樹上に営巣する。昆虫類やカエル類、小鳥類、ネズミ類などの小動物を捕食する。

写真なし

国内分布

北海道、本州北・中部、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、見島、四国、九州、対馬、男女群島、沖縄島、八重山諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(明石市)、(西宮市)、伊丹市、(豊岡市)、(篠山市)、(養父市)、(丹波市)、(宍粟市)、(稲美町)、(香美町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

1960-1970年代頃までは比較的記録が残されているが、その後減少し、2000年以降では、2003年3月姫路市、2010年5月神戸市、同伊丹市の3例に過ぎない。また、公にされている繁殖記録は1970年6月豊岡市円山川沿いの林での1例だけである。

保護上の留意点

渡り時期に通過コースとなる地域では、本種の主要な餌となるカエルやバッタ、ネズミ類などの小動物が普通に生息する農環境の保全が重要。